

新キャンパス開設特集・高槻ミュージズキャンパス

安全・安心のまちづくりに貢献する「社会貢献型都市キャンパス」が発進

小・中・高～大学・大学院 一貫教育の新拠点誕生！

高槻ミュージズキャンパスは、初等部、中等部、高等部、そして日本初となる社会安全学部・大学院社会安全研究科の特色ある教育・研究の場として、本年2月に竣工し、4月に新入生を迎えた。高槻市と連携した防災拠点としての機能も充実させた「社会貢献型都市キャンパス」がオープンした。



安全ミュージアム



関西大学ミュージズホール

●関西大学初等部・中等部・高等部 入学式挙行

高槻ミュージズキャンパスは、大阪と京都の中間に位置するJR高槻駅前という好立地に開設された。このキャンパスに初等部、中等部、高等部、そして日本初のも社会安全学部および大学院社会安全研究科が開設され、同一キャンパスの中で特色ある一貫教育を行う。

4月2日、第1回 関西大学初等部・中等部・高等部入学式が挙行された。初等部新1・2・3年生合計190人、中等部新1年生111人、高等部新1年生130人の児童・生徒が入学し、関西大学初等部・中等部・高等部の新しい歴史がスタートした。

●災害時の緊急避難、生涯学習に対応

高槻ミュージズキャンパスは、高槻市が提唱する「安全・安心のまちづくり」に寄与するため、施設に防災機能を備え、災害時の緊急避難場所としての役割を果たす。また「社会貢献型都市キャンパス」を目指し、約17,000冊の蔵書を収容する「児童図書館」や「生涯学習センター」を設けている。

教育・研究の成果を社会に還元するために、防災関係資料を展示公開する「安全ミュージアム」。最新の浄化システムにより災害時に生活用水を確保し、飲料水にも使用できる「室内温水

プール」。プールの床は可動式で、身長に合わせて8段階の水深を設定できる。さらに、太陽光発電設備、風力発電機も導入したエコ・キャンパスである。

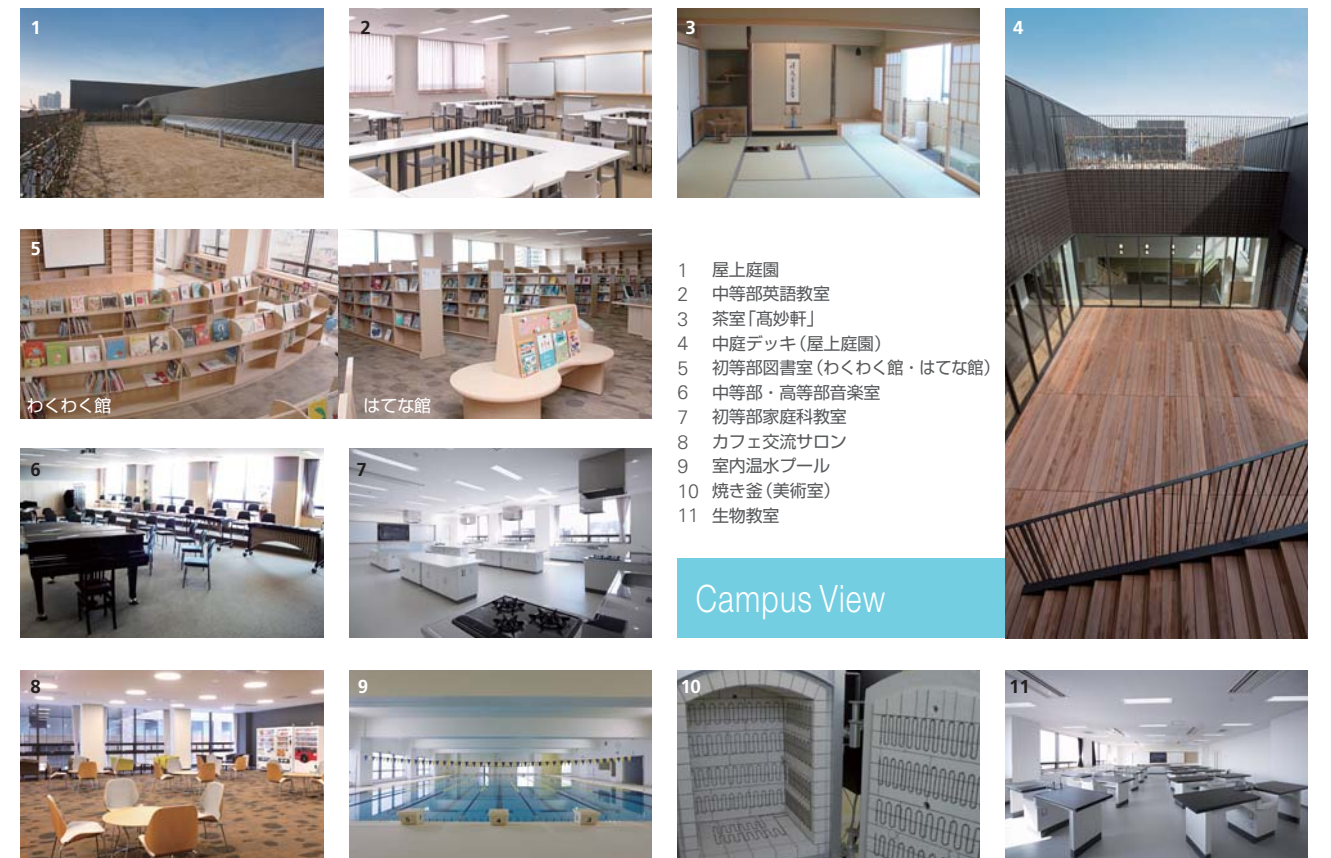
●社会安全学部・大学院社会安全研究科

社会安全学部は、防災・減災対策や事故防止、危機管理の実践と政策立案ができて社会に貢献できる人材を育成する学部である。安全で安心して暮らせる社会を実現するために、自然災害や事故に関する専門知識を身につけ、どのような制度や政策のもとで、どんな社会システムを構築していくべきなのかを考える。「社会災害マネジメントコース」と「自然災害マネジメントコース」の2コースを設置。それぞれの領域で高度な専門知識と実践力を身につけた人材を養成する。

大学院社会安全研究科では、学際的、複眼的なアプローチを通じてより高度な教育研究を行い、安全・安心な社会の創造という社会の要請に応える。

●子どもから大人へ——成長をはぐくむ

高槻ミュージズキャンパスは、今までの学校にはない開放感にあふれている。小学生、中学生、高校生から大学生、大学院生まで、年齢、学年を超えた人たちが行き来し、ゆとりのある広々



- 1 屋上庭園
- 2 中等部英語教室
- 3 茶室「高妙軒」
- 4 中庭デッキ(屋上庭園)
- 5 初等部図書室(わくわく館・はてな館)
- 6 中等部・高等部音楽室
- 7 初等部家庭科教室
- 8 カフェ交流サロン
- 9 室内温水プール
- 10 焼き釜(美術室)
- 11 生物教室

Campus View

としたスペースには、市民も利用できるレストランやカフェ交流サロンも設置されている。東館は、初等部・中等部・高等部の校舎棟、西館は大学・大学院の学舎棟、北館は体育・厚生棟となっている。

世代ごとに異なり、成長とともに変化するフロアカラー計画により、初等部は元気で明るく楽しい雰囲気の広がる空間、中等部・高等部はしだいに自立していく子どもが安らぐ空間、学部・大学院は落ち着いた印象の空間となっている。

高槻ミュージズキャンパスNEWS

開校記念式典・オープンキャンパス開催



4月24日、北館4階アリーナで「高槻ミュージズキャンパス開校記念式典」が開催された。上原洋允理事長と楠見晴重学長の挨拶、学校長紹介に続き、アイススケート部の高橋大輔さんと織田信成さんが駆けつけ、「期待のことば」を述べ、お祝いムードに華を添えた。さらに、初等部児童が入学後、短い期間で作詞し、練習した愛唱歌「心をひとつに」を全員で合唱した。午後からは「開校記念オープンキャンパス」が開催され、約3000人の参加があった。河田恵昭学部長による社会安全学部・研究科開設記念講演のほか、初等部の学校紹介、高等部の授業見学、ミュージズキャンパス見学、本学吹奏楽部と高槻市中学校吹奏楽連盟とのコラボレーションステージなどの催しが行われた。





新キャンパス開設特集・堺キャンパス

# “スポーツ” “福祉” をキーワードに 人間の健康を探究する「人間健康学部」開設

健康に関する幅広い知識を  
地域と連携しながら実践的に学ぶ

開校した堺キャンパスの「人間健康学部」は、“スポーツ”と“福祉”をキーワードに、人間の健康を探究することを教育研究の目的とし、多様な資格取得にも対応している。今後、新校舎(B棟)を建築し、堺市をはじめとする自治体と連携して、地域住民が健康で豊かな生活を享受できるよう、積極的に地域貢献を行っていく。



新築校舎(B棟)建築工事地鎮祭



## ●開校式・校舎(B棟)建築工事地鎮祭を挙

堺キャンパスは政令指定都市である大阪府堺市に位置し、南海電鉄高野線の浅香山駅前という交通の便に恵まれ、総面積は約3万㎡に及ぶ。

4月16日、上原洋允理事長、楠見晴重学長、竹内洋人間健康学部長らが出席し、堺キャンパス開校式および新築校舎(B棟)建築工事地鎮祭が挙

行された。新たに建築する校舎(B棟)は、鉄筋コンクリート造および鉄骨造、地上3階建て、建築面積1,571.48㎡、延床面積4,199.59㎡で、食堂や図書室などを設ける。2011年3月完成予定。

## ●体験学習・フィールドワーク重視で地域と連携

人間健康学部の設置構想は、堺市立商業高等学校・第二商業高等学校校地を利用した高等教育機関誘致事業に認められたもので、堺市の強力なバックアップにより、地域貢献・社会貢献を推進するための教育研究環境を備えている。

学校教育のシステムの中で体験学習を教育の手法として活用するための「プロジェクトアドベンチャー」施設や、笑いとユーモアについて科学的に研究するわが国初の機関である「ユーモア科学研究センター」などが設置されていることも大きな特長だ。

また、スポーツや福祉について、堺市など地域との連携プロジェクトを推進しながら、コミュニティスポーツの実践やフィー

ルドワークを重視した教育を行う。多彩なカリキュラムを用意し、健康で笑いのある、心豊かな暮らしの実現に貢献できる人材を育成する。

## ●「スポーツと健康コース」「福祉と健康コース」

人間健康学部では、「こころ」「からだ」「くらし」を総合的にとらえ、健やかでおおらかな生き方を目指す教育と研究を行うことを目的に掲げている。

人間の幸福を実現するための健康にかかわる諸問題の解決手法を探究するため、スポーツを通して健康を学ぶ「スポーツと健康コース」と、福祉社会を支える力を身につける「福祉と健康コース」の2コースを設置。

「スポーツと健康コース」では、生涯スポーツ活動を通しての人間形成やコミュニティの再生、あるいはスポーツ教育を通じた新たな人間の健康のあり方を探り、地域コミュニティにおいて活動できるスポーツ指導者などの養成をめざす。「福祉と健康コース」では、社会福祉のあり方や実践を、人間の生活環境と健康との関係でとらえ、こどもや高齢者を、地域コミュニティを創造する生活主体者として見つめ、福祉文化の構築などの諸課題を教育研究する。

## ●多様な資格取得に対応

所定の科目を修得することにより、中学校・高等学校教諭一



### Campus View

- 1 堺キャンパス・校舎外観
- 2 プロジェクトアドベンチャー施設
- 3 授業風景
- 4 体育館(アリーナ)
- 5 パソコン教室

種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(福祉)が取得できる。スポーツ関係では日本体育協会公認スポーツ指導者のほか、健康運動指導士や健康運動実践指導者の受験資格、福祉関係では国家資格である社会福祉士受験資格のほかに、社会福祉主事、児童福祉司、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司の任用資格が取得できる。

また、卒業後の進路として、“スポーツ”“福祉”のフィールドを中心に、幅広い分野・業種を想定している。健康・福祉・医療・観光関連の一般企業、スポーツ・レクリエーション・レジャー関連の公的機関職員、中学・高等学校教員、スポーツに関わる指導者、国や地方自治体の福祉部門、福祉関係施設などでの活躍が期待される。

## 堺キャンパスNEWS

### 堺シティマラソンに楠見学長が参加



堺キャンパスのある堺市は歴史と文化のまちであり、仁徳天皇陵と大仙公園のあたりは豊かな緑に包まれている。4月29日に仁徳天皇陵・大仙公園を周回する「2010堺シティマラソン」が開催された。なんと今回は、楠見晴重学長が参加し、見事に激走した。



堺シティマラソンで挨拶をする楠見学長

堺シティマラソンは、「歴史と文化と緑の仁徳天皇陵と大仙公園を走ろう!」をテーマに1980年に始まり、今年は31回目。第1部健康マラソン(4.5km)、第2部ファミリーマラソン(2.5km)、第3部男女10キロマスターズ(10km)、第4部男女10キロ一般(10km)の4種目が行われた。

楠見学長は健康マラソン4.5kmコースに参加。歴史と伝統を誇る関西大学に誕生した新学部の前途を祝するかのよう、新緑が映えるコースを走り抜いた。